

2024

環境経営レポート

- 対象期間：2023.10.1 ～ 2024.9.30
- 作成日：2024.12.25
- 更新日：2025.2.13

環境経営レポート 2024

ごあいさつ

弊社キテックスは、創業60年を優に超え、取扱説明書、パーツカタログをはじめ各種マニュアル作りで社会貢献をしています。分かりやすく、正確に、そして安全に使っていただけるよう絶えず表現力の研究研鑽に勤しんでいます。

ea21の環境経営活動は認証・登録取得の1年前から継続して行っています。

大きなことはできませんが、小さなことでも続けることで成果に繋がります。これからも全社一丸で、粛々と活動してまいります。

株式会社キテックス
代表取締役社長
田中 淳一



CONTENTS

1. 環境理念と活動の規模	3
2. 環境経営目標値と実績	7
3. 社内での環境・改善活動のご紹介	15
4. 事業内容のご紹介	19
5. 法令の遵守状況など	23
6. 代表者の視点から	25

1

環境理念と 活動の規模

私たちの環境活動に対する基本理念と、
活動の規模をご紹介します。

■ 環境経営方針	4
■ 登録範囲と事業者活動の概要	5
■ 実施体制	6

環境経営方針

環境理念

キテックスはエコアクション21に取り組み、私たちの日常生活や企業活動が及ぼす環境負荷を常に意識し、地球と地域の環境に配慮した環境経営システムを築くことにより、継続的に環境を保全します。

行動指針

キテックスは、環境保全に対する取り組みの行動指針を以下に定め、自主的・積極的に全社一丸となり継続的に推進します。

- ① 環境関連法規や守秘義務を遵守する
- ② 環境経営方針を下記のように定める
 - 2-1 地球温暖化緩和のために省エネルギーを推進する
 - 2-2 3R活動およびグリーン購入により循環型社会を推進する
 - 2-3 経営理念に即した活動により社会貢献と企業価値向上を目指す
- ③ 環境経営レポートを営業ツールとしても利用する
- ④ 全従業員に、この環境経営方針を周知徹底する

田中淳一

制定日：2005年 2月28日

改定日：2024年 2月14日

登録範囲と事業者活動の概要

株式会社キテックス

(2024年度現在)

代表取締役社長 田 中 淳 一		
大阪本社	活動規模	東京支社
総務部 ドキュメント企画部 パーツカタログ企画部	部 署	総務部 ドキュメント企画グループ
19人	従業員	5人
626 m ²	床面積	140 m ²
売上高：203（百万円） 事業年度：10月～9月		
環境保全関係の責任者および担当者連絡先		
大阪市浪速区戎本町2-3-14	住 所	東京都新宿区西新宿7-23-9 西新宿小林ビル302号
TEL：（06）6649－0295	電話番号	TEL：（03）5386－6541
パーツカタログ企画部 高 橋 桃 子	責任者	支社長 松 岡 毅
ドキュメント企画部 吉 田 愛 松 千恵子 水 元 秀 明 土 井 佳奈子	担当者	ドキュメント企画グループ 牛 塚 英 樹 内 野 正 子
全社認証登録範囲 ： 従業員数24名		

実施体制

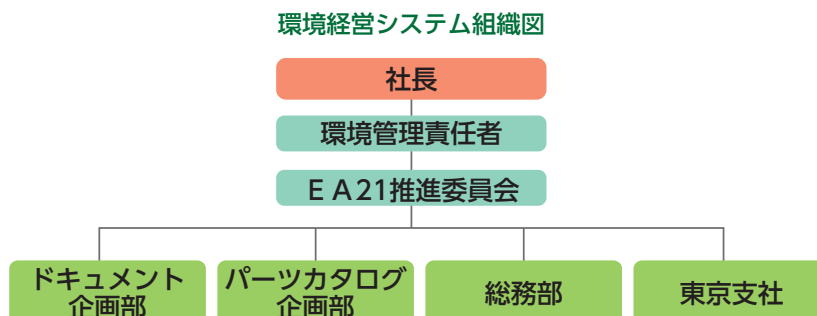
(1) 全般

当社は、EA21 環境経営システムを構築・運用し、環境への取組を実施するために効果的な実施体制を構築する。

実施体制においては、各自の役割、責任および権限を定め、全員に周知する。

(2) 環境活動組織

当社の環境経営システムを運用するための組織は右のとおりとする。



(3) 責任および権限

① 社長

- a. 環境経営に関する統括責任を持つ
- b. 環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間、技能技術者を用意する
- c. 環境方針の策定・見直しおよび全従業員へ周知を行なう
- d. 環境経営目標の設定を承認する
- e. 代表者による全体の評価と見直しを実施する
- f. 法規制等の要求事項登録簿を承認する
- g. 環境活動実施計画書を承認する

② EA21 推進委員会（環境管理責任者）

- a. 環境管理責任者、EA21 推進委員会の担当者打ち合わせ
- b. 環境への負荷の自己チェックおよび環境への取組の自己チェックの実施
- c. 「環境関連法規等チェックリスト」の作成
- d. 環境経営目標・環境活動実施計画書原案の作成
- e. 環境活動実施計画の実績集計
- f. 環境経営システムを構築、実施、管理する
- g. 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
- h. 環境活動の取組結果を代表者へ報告する

③ 各部門長

- a. 自部門における環境経営システムの実施
- b. 自部門における環境経営方針の周知
- c. 自部門の従業員に対する教育訓練の実施
- d. 自部門に関連する環境経営目標および環境活動計画の実施および達成状況の報告
- e. 特定された項目の手順書作成および運用管理
- f. 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録
- g. 自部門の問題点の発見、是正、予防処置

④ 従業員

- a. 自部門に対する環境経営計画書への参画
- b. 自部門に対する教育訓練の参加

2

環境経営目標値と実績

環境活動への各取組みに目標値を定め、
数値を管理しています。

■ 主な環境負荷の実績	8
■ 二酸化炭素排出量	9
■ 電力使用量	10
■ 自動車燃料	11
■ 一般廃棄物排出量	12
■ 水道使用量	13
■ コミュニケーションのビジュアル化	14

主な環境負荷の実績

■ 二酸化炭素排出量

	2022 年	2023 年	2024 年
合計（単位：kg-CO ₂ ）	▲ 16,252	▼ 14,769	▼ 13,615
二酸化炭素排出係数 （単位：kg - CO ₂ /kWh）	0.318	0.318	0.318

※都市ガスを含む

■ 一般廃棄物総排出量

	2022 年	2023 年	2024 年
小計（単位：kg）	▼ 979	▼ 546	▼ 532

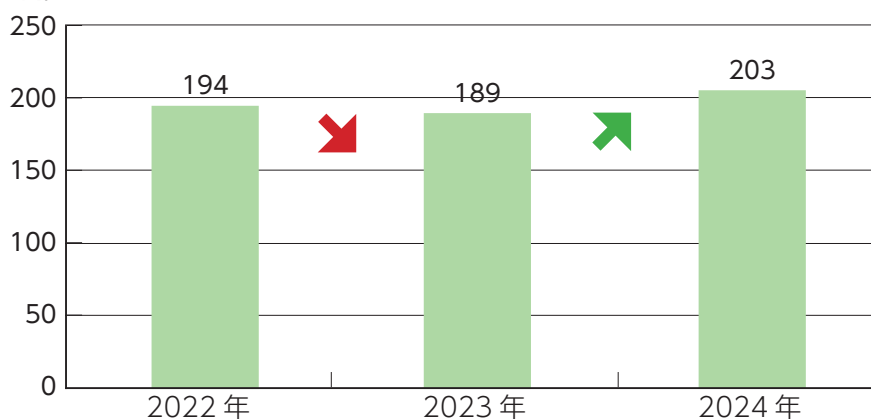
※再資源化分を含む

■ 水道使用量

	2022 年	2023 年	2024 年
小計（単位：m ³ ）	▼ 352	▲ 363	▼ 346

■ 売上金額

(単位：百万円)



(▲：前年比上昇 ▼：前年比下降 ➡：前年比維持)

※年度期間は、10 月から翌年の9 月まで

二酸化炭素排出量



2023年度の実績を考慮し、2023年度を基準として2024年度の目標を設定した。

二酸化炭素排出量の削減には、電気使用量とガソリン使用量から算出しています。消費電力を削減させることで排出量を抑さえ、また、公共交通機関の積極利用を促して排出量を抑制しています。

※二酸化炭素排出係数は、0.318kg - CO₂/kWh
3月以降は大阪本社のみ0.176kg - CO₂/kWhに変更

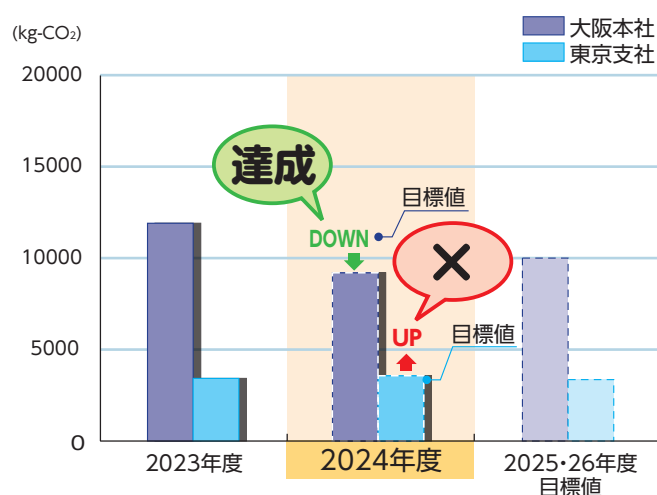
● 二酸化炭素排出量

(単位：kg-CO₂)

年 度	2023 年度	2024 年度		2025・2026 年度
	(実績)	(目標)	(実績)	(目標)
大阪本社	11,321	11,207	9,261	11,094
東京支社	3,418	3,350	3,565	3,316
合計	14,739	14,557	12,826	14,410

※都市ガスは少量のため、目標の二酸化炭素排出量に含まない。

※年度期間は、10月から翌年の9月まで



※都市ガスは少量のため、目標の二酸化炭素排出量に含まない。

[社内での活動例]



サーキュレータで空気を循環する



SDGsアイコンを張り付け、節電を促す

● 計画への評価と次年度の取組

評価

- ▶ 今年度の3月より、電力会社の変更によって排出係数が大きく減少し、二酸化炭素排出量が大幅に削減されたため今年の目標値は達成できた。しかし消費量自体は増加傾向にあるため来年以降も削減に向けて努力を続けたい。

次年度の取組

- ▶ 二酸化炭素排出量が大幅に削減されたが、電力、ガソリン自体の消費量は増加しているので油断せず無駄な照明の消灯等の対策を継続する。

電力使用量



2023年度の実績を考慮し、2023年度を基準として2024年度の目標を設定した。

電気の使用量の削減には、社員全員の日々の心がけがとても大切です。部分消灯の実施や、パソコンの電源管理などです。また、各フロアに環境委員を配置し、室内温度の管理を徹底して行うことで、電気使用量に気を付けています。

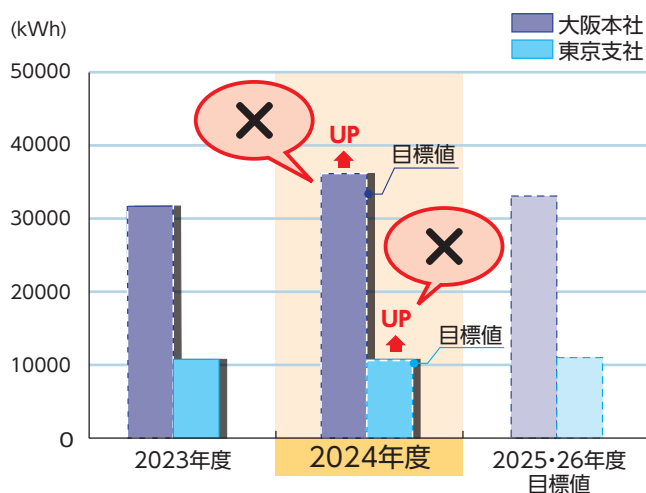
また、エアコンの高効率化にも工夫をしています。

● 電気使用量

(単位：kWh)

年 度	2023 年度	2024 年度		2025・2026 年度
	(実績)	(目標)	(実績)	(目標)
大阪本社	33,684	33,347	35,921	33,010
東京支社	10,749	10,534	11,211	10,427
合計	44,433	43,881	47,132	43,437

※年度期間は、10月から翌年の9月まで



【社内での活動例】



点灯位置をわかりやすく表示し、不要な照明はこまめに消す



踊り場の照明を人感センサー付にすることで、無駄な点灯を抑える

● 計画への評価と次年度の取組

評価

▶ 夏日や猛暑が例年より長く続いたのもあり、9月いっぱい空調はかかせなかった。温暖化の進行を身をもって感じる人が多いので、少しでも節電などに心掛け進行を押さえたい。

次年度の取組

▶ 空調設備による消費電力が大きいので、室温管理を徹底し、快適な職場環境を維持しつつ電力の削減を目指す。

自動車燃料



2023年度の実績を考慮し、2023年度を基準として2024年度の目標を設定した。

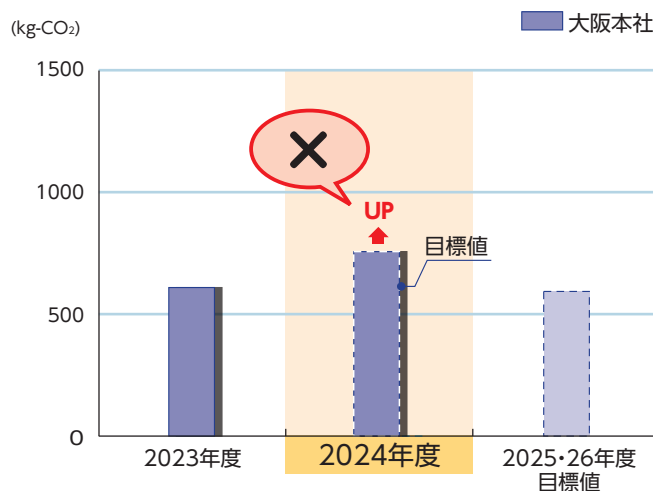
ハイブリッドカーを導入し、自動車燃料の低減に努めています。
また、自動車燃料の削減のために、公共交通機関の積極利用を促して排出量を抑制しています。

● 自動車燃料の削減量

(単位：kg-CO₂)

年 度	2023 年度	2024 年度		2025・2026 年度
	(実績)	(目標)	(実績)	(目標)
大阪本社	609	603	752	597
合計	609	603	752	597

※年度期間は、10 月から翌年の 9 月まで



※東京支社は社用車を保有せず。

【社内での活動例】



ハイブリッドカーの導入で燃料の抑制



ICカードの常備で公共交通機関を積極的に利用しやすく

● 計画への評価と次年度の取組

評価

- ▶ 2024年度は下期に思い切って社用車を1台にした。
荷物の運搬など3階の営業活動にはどうしても車が必要なため、1台に減らしたことで結果に反映されるのはしばらくかかるとされる。今後も営業活動の公共交通の利用を推進することで消費燃料の削減に努める。

次年度の取組

- ▶ リモートワークからオフィス業務へ移行する世間的な流れもあってか、社用車の使用頻度が増加している。しかしながら、来期からは社用車を減らしたことによる削減効果が期待できるため、公共交通機関の積極利用等の従来通りの対策を続ける。

一般廃棄物の排出量



2023年度の実績を考慮し、2023年度を基準として2024年度の目標を設定した。

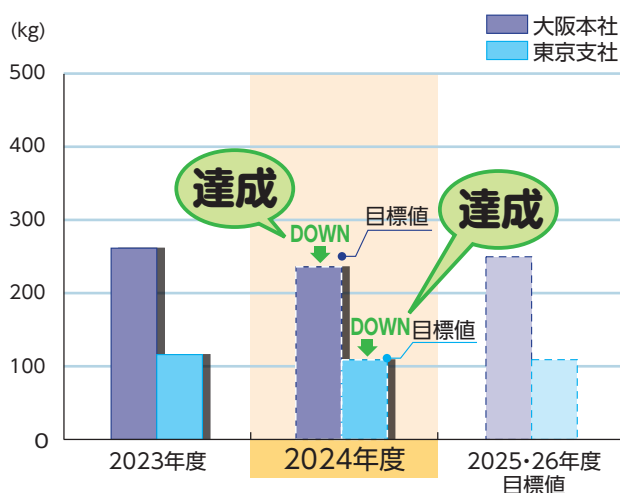
一般廃棄物の削減のために、使用済み用紙の裏紙の利用と、両面印刷・両面コピーを推奨しています。両面使用した紙や紙類全般はリサイクル業者へ委託し、再利用されるようにしています。また、普段より整理整頓に努め、一般廃棄物量の削減を目指しています。

● 一般廃棄物排出量

(単位：kg)

年 度	2023 年度	2024 年度		2025・2026 年度
	(実績)	(目標)	(実績)	(目標)
大阪本社	260	255	239	252
東京支社	116	113	110	113
合計	376	368	349	365

※年度期間は、10月から翌年の9月まで



【社内での活動例】



古紙利用の促進



可燃ゴミは、ゴミ袋が満杯のタイミングで出す

● 計画への評価と次年度への取組

評価

- ▶ 結果として目標値を達成することができた。個々の意識が少しずつ向上していると思いたい。一般ゴミを減らすのは難しいので、紙の廃棄物を減らすための努力を推進していく必要がある。

次年度の取組

- ▶ 大阪本社、東京支社ともに目標値を達成することができた。引き続き両面コピーの推奨等による廃棄物削減の対策を行う。

水道使用量



2023年度の実績を考慮し、2023年度を基準として2024年度の目標を設定した。

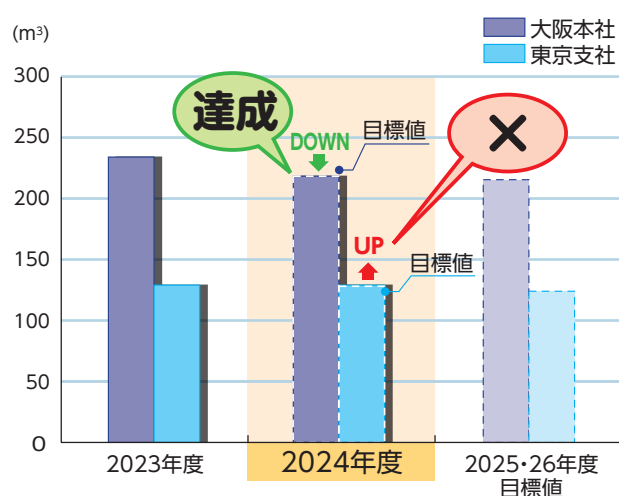
水道使用量の削減のために、社内すべての蛇口に節水コマパッキンを取り付けています。また、消毒液を導入し水道水の使用を節水しています。

● 水道使用量

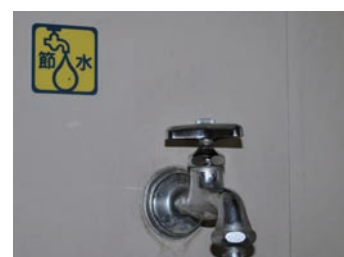
(単位：m³)

年 度	2023 年度	2024 年度		2025・2026 年度
	(実績)	(目標)	(実績)	(目標)
大阪本社	234	225	220	222
東京支社	129	124	126	123
合計	363	349	346	345

※年度期間は、10月から翌年の9月まで



[社内での活動例]



各人に節水を呼びかける



消毒液の常設

● 計画への評価と次年度の取組

評価

- ▶ 今年度の目標は達成した。
水道使用量は手洗い、トイレが大半を占めるとわれ、業績に左右するところが大きい。とはいえ建物の築年数を鑑み、漏水などが起こっていないか今後気を付けてみていく事も大切と考える。

次年度の取組

- ▶ 東京支社では削減量が目標値に届かなかったが、前年度より使用量を減らし、近い数字は達成できた。
来期も消毒液の導入を継続し手洗い用水の削減を目指す。

コミュニケーションのビジュアル化

● 目標達成手段

- ・ CAD 技術の情報収集、資格取得
- ・ 改善提案の推進
- ・ SDGs の社内啓発と外部への発信

● 計画への評価と次年度の取組

評価

▶ 昨年に引き続き、社内掲示による SDGs の社内啓発と改善報告の記録による改善提案の推進を継続した。

次年度の 取組

▶ 社内掲示による SDGs の社内啓発と改善報告の記録による改善提案の推進を継続する。
また、来期より展示会への参加をも目標として設定し、環境経営レポートの営業ツールとしての利用を推進する。

3

社内での環境・ 改善活動のご紹介

私たちの企業活動には、大規模な工場施設も機械設備も必要ありません。

日々の活動の中で、一人ひとりの社員が環境や自然への意識を高めることが重要です。

また、節水・節電・ゴミの減量といった目標を目指すのみでなく、様々な視点から社内環境を改善し、快適な仕事環境を生み出す努力も行っています。
私たちの行う環境・改善内容の一部をご紹介します。

- 環境（緑化）意識への取組み 16
- 緊急事態への対応 18

環境（緑化）意識への取組み



サツマイモの栽培・観葉植物の設置などで、全社員に興味を持ってもらう。

●屋上の緑化（大阪本社）

サツマイモが熱に強く、手入れが楽とのことで栽培している。社内行事のときに、収穫したものを全社員で食べることで、緑化の意識が高まることを期待。

2014年 開始1年目。思いのほか小さい…。社内行事（バーベキュー）で調理して、みんなで一口ずついただきました。



2015年 夏には青々とした葉が見られ屋上緑化を実現!? これこそサツマイモ! といった大きなサツマイモが収穫できました。



2016年 そろそろ収穫できるも、前年よりひと回り小さい…。

2017年 植えた時期が遅かったのか、土を一度入れ替えた方が良かったのか…。細いサツマイモが多く、来年に向けて要検討。



2018年 超巨大台風21号が大阪を直撃してサツマイモにも大きな影響が。プランターが倒れ中の土が散乱して屋上の排水口が詰まってしまう。その後、1階の窓の外に移動。日当たりが悪かったためか小さいサツマイモしか収穫できず…。

2019年 今年度は一旦休止。改めて来年度に挑戦したい。

2020年

コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令されている中で、どうなるかと思ひながら、5月にサツマイモの苗を植えました。梅雨の頃、雨が多く日照時間が少なくて心配しましたが、夏の猛暑にも負けずに12月に収穫を迎えました。2015年以上の、過去最高の豊作!



大きなさつまいもがいくつも出てきました



例年より遅く収穫したため、立派なさつまいもに育ちました。虫食いが少しあったのが残念…

2021年 虫食いが大量に発生し、昨年度より大幅に収穫量が減少しました。
来年に向け対策を要検討。

2022年 病気と虫食いの対策のため、今年は農薬を使用しました。
その甲斐もあってか虫食いの被害も少なく、小ぶりのものが多いものの、十分な量を収穫することができました。

2023年

今年も虫食いの被害は比較的少なく抑えることができました。
芋の品種を変えた結果、去年より収穫数は少ないものの一つ一つの体積は増加したように思います。



屋上のプランターで栽培しています



今年の収穫の様子



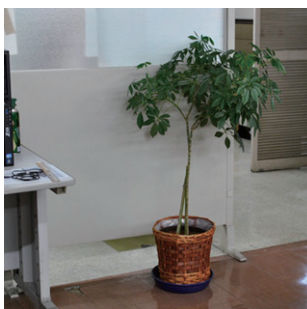
小ぶりですが、しっかりとしたさつまいもができました

2024年 今年はサツマイモの栽培は行いませんでした。

屋上に緑が増え、緑化の意識が高まるとともに、収穫の喜びを味わうことができ一石二鳥。
とは言え、台風などの時に散乱しない対策が必要。今後も続けていけるのか・・・。

●観葉植物の設置 (大阪本社)

フロアの空きスペースに観葉植物を配置。



●ポトスの栽培 (東京支社)

空気清浄効果を期待し、株分けが容易で日当たりを気にしなくてよい、ポトスの苗を植えた。



緊急事態への対応



大阪本社、東京支社それぞれにおいて、自然災害や火事などによる避難訓練を毎年実施しています。また、非常用の備蓄品も順次用意しています。

●大阪本社 (2024年9月6日)



◆避難訓練 (大阪)



◆避難訓練 (大阪)

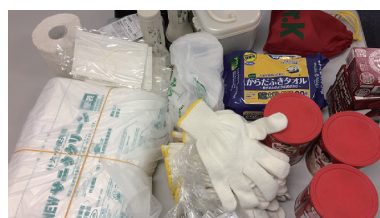


◆非常用品の備蓄

●東京支社 (2024年9月4日)



◆避難訓練 (東京)



◆非常用品の備蓄

●防災対策ポケットガイドを作成

災害時における社員の行動指針として、防災対策ポケットガイドを作成し配布しました。



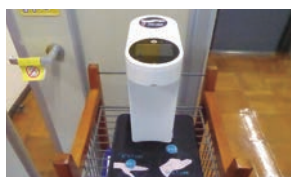
「BCPレジリエンス認証」の認証・登録

近年増加している自然災害や新型コロナウイルスの流行などを受けて、当社でもBCPを策定し、2020年7月に「BCPレジリエンス認証」の認証・登録（認証・登録番号R0000012）できました。活動の一環として、エコアクションと合同で防災訓練を行っています。

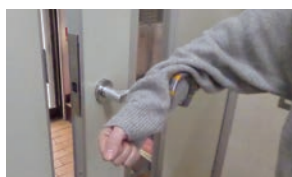


●コロナ感染症対策

コロナウイルスに感染しない！ 持ち込まない！ ために。



大阪本社玄関に検温・消毒用機器を設置しました



取っ手に触れずにドアを開けるための治具を取り付けました



各階の入口に消毒液を設置しました



ソーシャルディスタンスを保つため、席の間隔を広げました

4

事業内容のご紹介

弊社の事業内容をご紹介します。

- 各種マニュアル・パーツカタログの制作 20
- SP ツールの制作 21
- その他の技術サービス 21
- 新しいコミュニケーション技術への取組 22

各種マニュアル・パーツカタログの制作

取扱説明書・各種マニュアル

- 取扱説明書
- 施工説明書
- 設置説明書
- クイックマニュアル
- サービスマニュアル
- アフターサービスマニュアル etc...



優れたマニュアルは、製品のブランド力を高めます！

キテックスの手がけるマニュアルは、工業製品から家電製品、アミューズメント機器、さらに製品マニュアルやシステムサービスのマニュアルなど、多岐にわたるご要望にお応えします。

詳細な取扱説明書や設置マニュアルから、お手軽なクイックマニュアルまで、お客様の大切な商品を誰にでも分かりやすく表現します。

パーツカタログ・部品価格表

- パーツカタログ
- パーツリスト
- 部品カタログ
- 整備マニュアル
- 価格表 etc...



パーツの指定・確認や組立作業を簡略化し、製品の整備や、アフターサービスまでをサポートします！

製品の修理・点検にあたり、必要なパーツの確認・指定が簡単にでき、製品の構成や組立の手順などが分かります。

キテックスが創るパーツカタログは、その精度の高い仕上がりにきっとご満足いただけます。

SP ツールの政策

カタログ・パンフレット・販売促進ツール

- 商品カタログ
- ポスター、チラシ、DM
- パンフレット、リーフレット
- 名刺、封筒、ラベル
- 会社案内
- シールなどの各種印刷物 etc...



企業PRや商品の販売促進に！

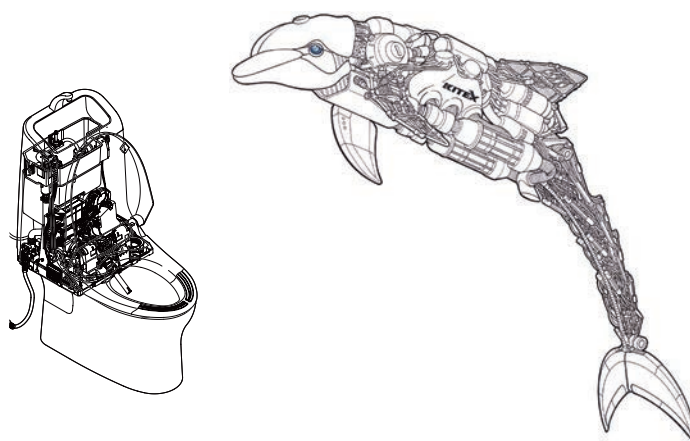
印刷コストを踏まえた最適なツールをご提案します！

企業イメージアップにつながるパンフレットや商品カタログなどの各種印刷物・販売促進ツールなどもおまかせください。

精密・詳細なだけではない、ユーザーの目をひくPOPなイラストや美しいデザインも、キテックスの得意分野です。

その他の技術サービス

- テクニカルイラスト
- テクニカルライティング
- DTP デザイン・データ編集
- 多言語翻訳・各種データ変換 etc...



多彩な技術と豊富な知識で、あらゆるニーズにお応えします！

「分かりやすいイラストを描いてほしい」「つくった原稿のリライト・チェックをしてほしい」「既存のデータの改訂作業をお願いしたい」「納期がないんだけど…」「どう伝えればいいの？」ほか、幅広いご要望にお応えできます。

経験豊富な私たちは、『困ったときのキテックス』を目指しています。

新しいコミュニケーション技術への取組み

時代はグローバルに、そしてマルチメディアに…

私たちは、未来を見つめた新しいコミュニケーションの形を創造します。

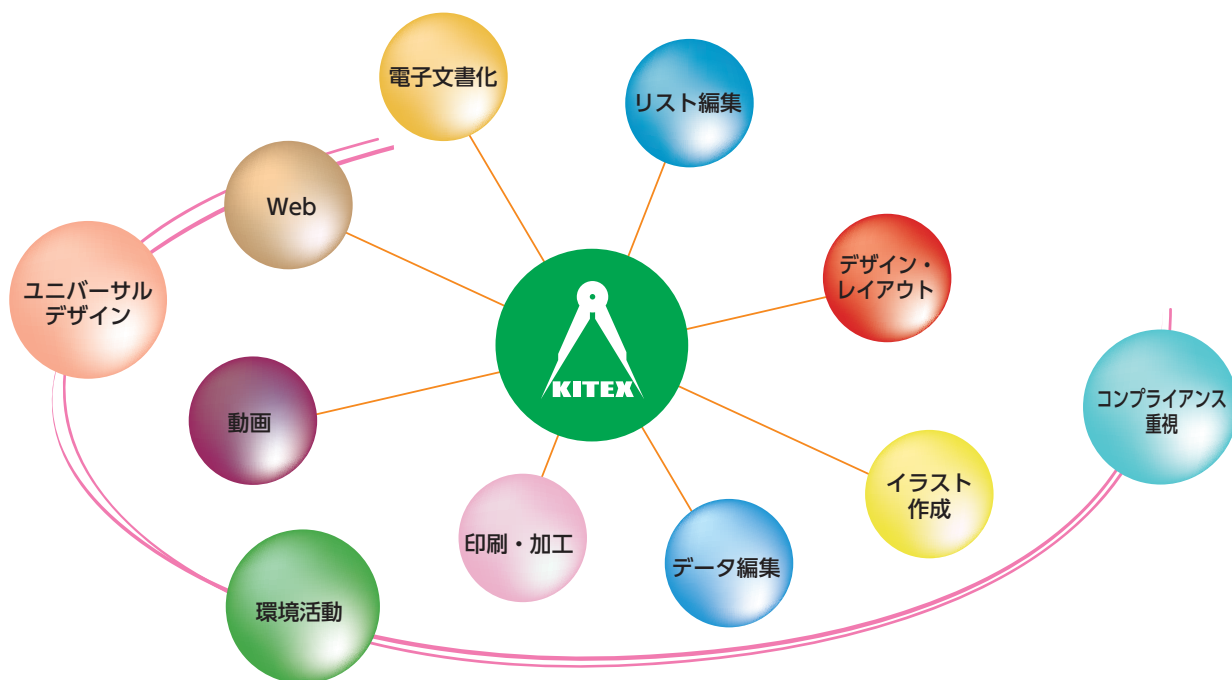
近年、特に重要視される、コンプライアンスに基づいたユーザーフレンドリーなマニュアル制作。

あらゆる言語への展開をはじめ、ユニバーサルデザインを軸にしたグローバルな商品づくり。

さらに印刷物にとどまらない、PDF やweb マニュアル、撮影技術・Flash を用いた動画マニュアルなど。

新しい時代はマルチメディアに広がり、クロスメディアで展開します…

コミュニケーションの可能性は無限に広がり続けます。



情報技術のブランドをめざして…

優れたマニュアルとは何か？

私たちは常に問い続けます。

取扱説明書、パーツカタログなどの技術資料に必要なものは？

カタログ・パンフレットなど、大切な商品表現するには何が大切か？

印刷物からweb、電子文書など、広がり続けるメディアにどう対応するか？

私たちはお客様の製品と、その先のユーザーとをつなぐかけはしです。

「キテックスの制作である」という安心と信頼を創りだす。

私たちは新しい情報技術のブランドを目指します。



5

法令の遵守状況 など

キテックスにおける環境関連法への遵守状況などの報告です。

■ 環境関連法規制の遵守状況	24
■ 外部からの苦情、要請	24

環境関連法規制の遵守状況

- ・ 廃棄物処理に関する条例（大阪市廃棄物条例）
- ・ 東京都廃棄物条例
- ・ 家電リサイクル法
- ・ 顧客要求事項（環境マネジメントシステムの運用、顧客アンケート、即応力）
- ・ フロン排出抑制法
- ・ グリーン購入法

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はなかった。
また、過去3年間にわたって違反や訴訟、および関係当局の指摘はなかった。

外部からの苦情、要請

外部からの苦情、要請等はありませんでした。

6

代表者の視点から

今後の目標・活動計画と、代表者による総括です。

■ 目標・活動計画	26
■ 代表者の総括	26

目標・活動計画

従業員にはea21 活動の深化が進んでいるように思えます。

機材などの入れ替え時には環境に留意したものを自然に選択しています。

代表者の総括

ea21 認証・登録を取得する1年前から、18年以上続けてきた活動はすっかり日常の一部になっています。意識せず日々行動できていることはとても有意義なことととらえています。

昨年、より二酸化炭素排出量の少ない電力会社に変更しました。もともと電力消費の少ない弊社ですが、少しでも脱炭素に貢献できればと思っています。日々の営みで少しでも環境負荷を軽減できているということは気持ちの良いことです。

また、環境経営方針として、環境経営レポートを営業ツールとして活用すること、2025年度では展示会に出展することで取引先拡大につなげていきます。従業員全員が、どこにおいても環境を意識して自然に振舞えることを願っています。

全体の見直し結果と指示

	変更の必要性
環境経営方針	☒ あり ☐ なし（2025.2.6 に改定した）
環境経営計画・目標	☒ あり ☐ なし（環境経営方針との整合）
実施体制	☐ あり ☒ なし

* 基準年は前年度を基準とする

見直し日：2024年11月28日
再：2025年2月6日

2024 環境経営レポート